

# 希望の鐘

第217号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

文責：校長 佐々木

## 成長を誓って 希望式(1年生) 立志式(2年生)

### 希望式(1学年)

1年生の「希望式」は、3月1日(水)に行われました。2年生になるための、そして更なる成長を自覚するための希望式。

1年間を振り返るスライドの上映では、たった一年しかたっていないのに、ずいぶん背も高くなり、表情が大人っぽくなったと感じました。

自分たちの成長や絆を表現する学年ダンス発表は、フォーメーションの変化などで難しかったと聞いていましたが、なんのなんの、天真爛漫な1年生らしい、「集団」を意識したダンスを堪能できました。

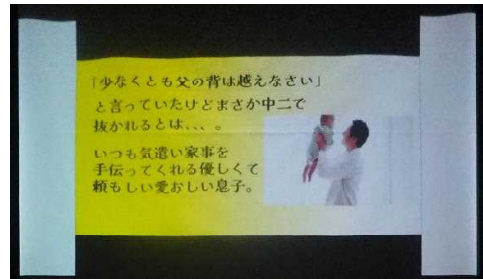


第2部は、制服に着替え、自分の思いや学年の目標を宣言しました。はきはきと、堂々と自分の夢を語る姿に、これまでの成長を感じているのでしょう、見守る保護者の皆さんの表情がとても柔らかかったことが印象に残りました。



### 立志式(2学年)

希望式からのバトンを引き継ぐかのように、翌日の3月2日(木)、2年生の立志式が行われました。



第1部は、赤ちゃんの時の写真、そして親から我が子へ、子供から親御さんにあてられた「三行ラブレター」、2年生での様々な活躍を振り返る行事での様子がスライドで紹介されていきます。会場が温かな雰囲気になりました。次に、今の自分たちの気持ちをダンスで表現しました。爽やかな音楽に乗って、生き生きと踊る姿に胸が熱くなりました。



そして第2部は、自分の課題と向き合い、目指す「大人像」を宣言する「立志宣言」を行いました。

自分の課題(弱点)と向き合って、それを克服するために何を目標にするべきか、どんな言葉で表現すればよいか、そして、それを人前



爽やかでたくましい、新2年生の活躍が楽しみになってきた、素敵な希望式でした。

で宣言することはさらにハードルが高い行為です。それでも2年生は、一人一人が覚悟をもって立志式に臨み、見事にやり遂げました。



覚悟を決めた生徒たちの潔さが、強く伝わった、素晴らしい立志式でした。

希望式も立志式も、全員が何かの係になっていて、お互い話し合い、時にぶつかったりしながら前向きに作業を進め、当日を迎えました。登校時間に校門で見る生徒たちの表情が、ここ1か月、徐々に引き締まっていく様子に改めて「節目」の大切さを実感しました。

本校のブログでは、たくさんの写真と併せて、様々な場面で生徒の様子が、熱く詳細にレポートされています。そちらもぜひチェックしてみてください。

## 「あの日」を語り継いで ～防災教室実施～

3月11日は、甚大な被害を受けた東日本大震災での教訓を学ぶ、八戸市防災教育の日です。その日は本校の卒業証書授与式であることから、3月3日(金)に防災教室を行いました。

今回講師を務めてくださったのは、青森県防災士会 八戸支部の井上貫之先生です。本校生徒の大多数が、小中野小学校1~3年生だった当時の校長先生でもあります。



## 3月の行事予定

- 6日(月) 全校朝会
- 7日(火) 県立高校入試  
2年生立志講演  
(保護司 笹森昭二氏・中舘弘一氏)
- 10日(金) 卒業式予行練習
- 11日(土) 卒業証書授与式  
八戸市防災教育の日
- 13日(月) 3/11の振替休業日
- 14日(火) 中央委員会
- 15日(水) 県立高校追試験 生徒委員会
- 17日(金) 県立高校合格発表  
小中野小学校卒業式
- 20日(月) 新入生一日入学
- 21日(火) 春分の日
- 22日(水) ワックスかけ
- 24日(金) 修了式 離任式

震災に伴う「心のケア」のこと、これまでこの地域や日本で起こった様々な地震や津波(三陸大津波やチリ地震津波など)のこと、防災ノートの表紙の言葉「自分のためにできること人のためにできること」に込められた願いなど、たくさんのグラフや図を用いての講演になりました。あっという間に時間が過ぎ、もっとお聞きしたいと思いました。右の写真は、井上先生が著者に名前を連ねる本です。今回の防災教室に合わせて、6冊寄贈いただきました。

あの日、寒さと不安に耐えながら、この体育館でたくさんの人々が過ごしていた光景は今でも忘れられません。自分事として受け止め、「いざ」という瞬間に備えなければ、と思いを新たにした防災教室でした。

